



のぎく

だより



“ 7月7日 ~ たなばた 七夕 ~ ”

年に一度、この日に会うことを許された、織り姫（おりひめ）とひこ星の伝説にちなんだ行事です。願い事を書いた短冊（たんざく）などを笹竹（ささだけ）に飾ります。

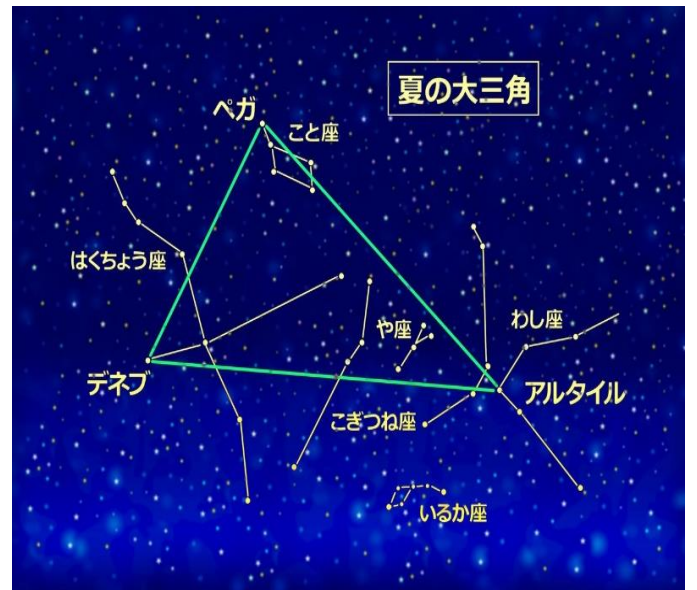


【「天の川」に架かる「橋」】

織り姫とひこ星は、カササギの群れが翼を広げて天の川に架けた「橋」を渡って再会します。7月7日に降る雨「催涙雨（さいるいう）」は、雨で天の川が増し「橋」を渡ることができなかつた織り姫とひこ星が流す涙だといわれています（諸説あり）。

【織り姫とひこ星はどれくらい離れているか？】

天の川（あまのがわ）を挟んで引き離された織り姫とひこ星は、14、4光年離れています。これは、光の速さ（1秒間に「地球を約7周半」進む）で、約14年半かかる距離です。



【「天の川」のしずく】



平安時代、七夕の日の朝にサトイモの葉にたまつた夜つゆは「天の川のしずく」と考えられていました。朝、つゆを集めて墨をすり、神聖な木とされている「梶（かじ）」の葉に和歌や願い事を書いていました。

【浴衣（ゆかた）の日】

昔の七夕は、衣服を縫ってご先祖様の霊にお供えし、裁縫の上達を祈ったり、衣類に感謝する日だったことにちなみ、七夕である今日が記念日に制定されました。

みなさんはどんな色・柄の浴衣でしたか？





“ 今月のご当地グルメ ”



全国のご当地グルメが
食べられるよ！みなさん！
お待ちしております！

生姜飯（和歌山）
うずみ（和歌山）
くじらの竜田揚げ（和歌山）
ガラガラおろし（三重）
ごま豆腐（和歌山）



なめこそば



“ 誕生者のみなさん おめでとうございます ”



石垣 桂子様



田中 愛子様



石田 千卫様



高橋フサ子様



明石 清子様



のぎくの風景～機能訓練・レクリエーションなど～”

